資料－５

北上川水系河川整備計画[国管理区間]
（仮）地震・津波関連
作成イメージ概要

- **河口部で発生する水災害には、洪水、高潮、津波がある。**
- **東日本大震災を受けて、河口部の整備計画を見直す。**
- **東日本大震災の概要**
  → 地震、津波の規模（震度、加速度、地殻変動、波形、津波高、浸水範囲）
  → 一般被害、河川管理施設の被害
- **東日本大震災の教訓**
  → これまでの地震・津波対策のあり方に対する課題
- **河口部の治水対策（目標）**
  → 二つのレベルの津波を想定し、施設計画上の津波及び高潮に対してハード対策を行う。
  → 最大クラスの津波に対しては、まちづくりと一体的に減災対策を講じる。
- **施設計画上の津波、高潮に対する河川整備**
  → 海岸堤防と整合した河川堤防を整備する。必要に応じて耐震対策を実施。
- **利水に関する目標及び整備**
  → 震災後の水利用を踏まえた適正な水管理。
- **環境に関する目標及び整備**
  → 震災による環境の変化。モニタリングの強化。
- **維持管理に関する目標及び整備**
  → 水文・水質観測の機能維持強化、浸水センサ等の検討。
  → 施設管理の高度化（遠隔、自動操作）
  → 不法係留船の解消
- **危機管理体制の整備・強化**
  → 東日本大震災を検証し、危機管理体制をあらかじめ構築する。
- **津波防災まちづくり等のソフト対策**
  → 津波防災まちづくり
  → 地盤沈下に対応した関係機関との連携、広域的な連携
  → 防災教育の推進、震災経験の伝承